

企業名： JUKI

レポート名： 統合報告書 2022

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

JUKI は中期経営計画で、付加価値構造改革およびコスト構造改革の実行力強化として新たに「行動改革」を追加し、グループ全社での人材育成により、中期計画の実現を推進することを掲げている。付加価値構造改革としては、高付加価値分野の強化による顧客基盤の維持・拡大、アライアンス先との協業強化、事業領域拡大による新たなビジネスモデルの構築。コスト構造改革としては、事業環境変化を踏まえたコスト構造の見直し、生産/物流/調達網の再構築、拠点機能の統合、管理部門の効率。行動改革としては社員一人ひとりの施策実行力の強化、グローバルでの多様な人材活用、次世代リーダー育成/全階層での学び直し、成果・職責に応じたジョブ型マネジメント。これらの三つの構造改革を推進した後の姿が将来の姿といえる。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

JUKI は長期にわたりミシンや産業装置やその他グループ企業で製造しており、そのつながりこそが最大の競争優位性であるといえる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

現在も JUKI とその関連企業は事業拡大を続けており、グローバル展開によりそのつながりは広がり続けている。その為、JUKI の競争優位性は持続すると考えられる。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

「人材と組織」は、最近では人的資本と言われますが、一生懸命自分の持てる能力を磨き発揮する人材への投資を積極的に行い、その生産性を評価する人事制度を導入しています。既に 2000 年代に管理職の給与を全面的に職務給に切り替えていますし、直近の 2021 年より一般職にもジョブ型雇用制度を導入しました。また、コロナ禍の中で浮き彫りとなった個人の生活観やスタイルを重視した選択式の多様な勤務方式も導入しています。今後もさらにグローバルかつダイバーシティに対応できる人事制度の変革を進めていきたいと考えています。」と JUKI 影響報告書 2022 には記載されている。このことから、私は自身の人的資本の価値向上は達成できると考える。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

グラフや図や表を用いて説明していた点は見やすい為良かった。しかし企業としての競争

優位性を明確に書いてなかった点は改善の余地がある、と言える。

参考文献

JUKI ホームページ <https://www.juki.co.jp/>

JUKI 統合報告書 https://www.juki.co.jp/wp/wp-content/uploads/2023/03/2022_ja.pdf